

◎「祝福式」

年長組の子供たちの成長を喜び、お祝いします。

今日まで子どもの成長を援けてくださった神様に「ありがとうございます。これからも子供たちをお守りください。」と感謝とお願いの心を表すキリスト教の祝式・七五三です。

そして実際には、これまで毎日食べさせ、寝させ、懸命に育ててこられた親御さんへの「ご苦労さまです」の^{ねぎら}いと感謝、励ましの時でもあります。

◎「収穫感謝」

自然の恵み、夏の太陽や雨、風等、加えて農牧の方々の労苦の賜物、お米や野菜、果物などの秋の実り、多くの皆様の働きによって、私たちの命は支えられているのですね。また、私たちがスイッチひとつで電気、ガスを利用でき、ふんだんに水を使い、快適に日常生活できるのも、仕事とはいえ、自分の持ち場を責任もって働いてくださる方々のお陰です。

「あの人たちは給料をもらってやってるんでしょう？だから当たり前。私たちは料金を払っていることだし。」

まさにその通りなのですが、私たちお互いは必ずしもそれだけではない事柄で生きている部分があるのではないのでしょうか。

大げさな言い方ですが、私たち人間と社会は、何千年、何百年も前から、他の人のために働くことを知っていました。逆に他の人の親切や好意もなしに、1人だけで暮らすことは出来ない、多くの事柄、人々と共に支えあつての命です。

せめて11月は“ありがとうございます”“ご苦労さまです”の月にしたいものです。

.....

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。